

令和2年度 仙台市夏休み小・中学生ポスター教室
～みんなでバリアフリーをかんがえよう！かいてみよう！～を開催いたしました

令和2年8月20日
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

去る8月8日（土）に「令和2年度仙台市夏休み小・中学生ポスター教室～みんなでバリアフリーをかんがえよう！かいてみよう！～」を実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドラインに則り、居室の収容率を50%以下にするため、会場を仙台市福祉プラザ7階創作室から1階プラザホールに変更して実施しました。

今回、下は小学1年生から中学3年生まで、8名が参加してくださいました。

まず、ポスターを描く前に、「バリアフリーとはなんなのか？」を考えるため、仙台市障害者相談員である菊地まり子氏を講師にお招きしてお話を伺いました。

菊地氏からは、家の中での生活の工夫や外出した際の話、これまで取り組んできたを障害者スポーツの話をしていただきました。

「相棒の車いすと共にいろんなところに出かけていて、困ることは特にはないんです。でも時々困る時があるんです。」ということで、その代表として、商業施設に出かけた際に車いす用駐車場や多目的トイレを障害のない方が使用している場面に遭遇することがあるという話をいただきました。「本来その場所を必要としている人が使用したい時に使用できないことがあるので、元気な皆さんやそのご家族の方にはご協力をお願いしたいです。」とお話がありました。

菊地氏からの講話終了後に、絵画指導の大内欽二氏からポスターの描き方に関するご指導をいただいた後、参加者それぞれがポスター作りに取りかかりました。

事前に構図を考えてきた方、菊地氏の話からイメージをして描いた方、いろんな参加者がいましたが、描きながら菊地氏や大内氏に直接質問し、アドバイスを頂きながら作品を仕上げていきました。

本教室で製作したポスターは「令和2年度仙台市障害者週間のポスター」に応募していただく予定になっています。教室の時間内で描きあげた方は数名だったものの、完成した作品を応募作品として目にする日が待ち遠しく思います。

本教室は毎年夏休みの時期に合わせて実施しています。来年度も皆様のご参加をお待ちしております。



←実際に車に乗る様子も見学させて
もらいました。
見学した参加者は皆興味津々の
様子でした。